

普及活動情勢報告（平成29年8月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

情勢報告

環境制御技術をもっと知ろう！・・・ミョウガ生産者若手勉強会・・・	
	8月4日、JA高知はた幡東営農センターで、ミョウガ生産者8名が参加し、生産者若手勉強会が開催されました。本勉強会は生産者が主体となって開催しており、今年度2回目になります。 農業改良普及課からは、環境制御技術と測定装置に関する情報提供を、測定装置を導入している生産者からは、その操作方法と環境測定データを活かした栽培管理についての紹介を行いました。 参加者は、特に環境測定データの活用事例には熱心に聞き入っていました。また多くの質問があり、環境測定装置の導入に前向きな意見も出されました。 農業改良普及課は、繰り返し情報提供を行い、環境制御技術の普及と生産性の向上に取り組んでいきます。
果樹の栽培技術を向上させて出荷を増やそう・・・(株)西土佐ふるさと市栽培講習会・・・	
	7月20日、四万十市役所西土佐総合支所で、道の駅「よって西土佐」へ青果物の出荷をしている(株)西土佐ふると市の生産者12名を対象に、栽培講習会を開催しました。 農業改良普及課は、常緑果樹と落葉果樹による管理の違いや、省力効果の高い施肥方法や病虫害防除方法について説明しました。 参加者からは「今日来た人は得した」という声があり、取り組み意欲を高めることができました。 農業改良普及課は、今後、冬季に剪定講習会を開催し、さらなる栽培技術の向上を目指します。
酒米の品質向上に向けて・・・大宮地区現地検討会の開催・・・	
	7月21日、四万十市西土佐大宮地区で、酒造好適米「吟の夢」の現地検討会を開催し生産者6名が参加しました。 農業改良普及課は、各生産者のほ場で生育調査を実施し、その結果に基づいて穂肥適期・量や病虫害の防除体系について説明しました。 参加者は全員で各々のほ場の生育状況を確認、共有し、追肥の要不要や追肥方法について活発な意見交換が行われました。また、出穂時にもう一度その後の管理結果を確認しあおうという提案もあり、高品質生産に向けた意欲を高めることができました。 農業改良普及課は、今後出穂時に現地検討会を開催し、昨年度を上回る品質確保のための指導を徹底します。

増収のための技術を学ぼう！・・・幡多地区キュウリ研修会・・・



7月25日、黒潮町ふるさと総合センターで、JA高知はた園芸研究会きゅうり部会が研修会を開催しました。生産者56名と関係者39名が参加し、営農指導員と農業改良普及課などが講師となり、アザミウマ類対策や仕立て方法などについて学びました。

農業改良普及課は、力枝の孫枝更新や炭酸ガス施用効果の調査結果を報告し、生産者から「来作は孫枝更新をやってみたい」「炭酸ガス発生機を導入するから指導もよろしく」という声を聞くことができました。

農業改良普及課は、今後も生産者との情報交換を積極的に行いながら、課題解決に取り組んでいきます。

施設ナスにおける黒枯病の防除技術の向上・・・JA高知はた大月支所施設園芸部会総会・・・



7月28日、大月町農村環境改善センターで、生産者13名、関係機関11名の計24名が参加し、JA高知はた大月支所施設園芸部会の総会を開催しました。

農業改良普及課からは、湿度制御による黒枯病の抑制効果、及び環境制御による管理作業の省力化について紹介しました。生産者は黒枯病の防除に苦慮しているため、湿度制御への関心が高く、他産地での事例も紹介してほしいとの声が挙がり、黒枯病の防除に前向きな姿勢が見られました。

農業改良普及課は、今後、簡易な環境測定装置についても情報提供を行い、ハウス内環境の見える化が病害防除及び作業の省力化に繋がるという点を強調し、栽培技術の向上を図っていきます。

女性農業者の栽培管理技術の向上・・・はちきん農業大学農業基礎講座・・・



7月28日、四万十農園あぐりっこ研修センターにて、はちきん農業大学農業基礎講座を開催し、女性農業者6名が参加しました。

農業改良普及課は、職員が講師となり、「土づくり」「肥培管理」の講義を行いました。参加者からは土壌改良資材と基肥の施用時期の関係について具体的な質問があり、土壌診断の重要性についての認識も深まりました。

また当日は、幡多農業振興センター管内で就農を希望する研修生の基礎講座と同時開催としたことにより交流の場にもなりました。

農業改良普及課は、今後年間計画に沿って講義を開催するとともに、できるだけ早く各自のチャレンジプランが作成できるようフォローアップを行います。

集落の農地を守るぞ！・・・黒潮町出口営農組合設立総会・・・



7月29日、黒潮町出口集落にて、農業者、地域住民、関係者など合わせて21名が出席し、「出口営農組合」の設立総会が開催されました。

組合員数は11名で、組合長には、地域で花の栽培技術を指導している方が就任しました。

初年度は、水稻に係る粃摺り作業を受託し、将来的には、雇用を確保し施設園芸などに取り組むことを考えています。

農業改良普及課では、組織の経営安定に向けて、施設・機械の計画的な導入や経営面全般への支援を行っていきます。

ソラマメの生産拡大を目指して・・・J A高知はた大月支所ソラマメ部会栽培講習会・・・



8月3日、J A高知はた大月支所で、大月支所ソラマメ部会員5名が参加し、総会、栽培講習会を開催しました。

農業改良普及課からは、赤色斑点病の特徴と防除のポイントについて説明を行い、J Aからは、前作で病害発生により品質低下が見られたことから、定期的な薬剤防除について周知を行いました。

参加者からは、ソラマメは手をかけただけいいものが取れる、今後も他産地の視察研修なども行い、栽培技術を向上していこうとの意見が出されました。

農業改良普及課では、今後の種作業や催芽期間中の温度管理について指導を徹底していきます。